

アクティビティレポート

NL アンケート中間解析に基づく 今後の出版物企画について

出版物に関する委員会

1. はじめに

本誌ニュースレターでは、22巻6号巻末(2007年12月)に読者アンケートのお願いを掲載し、別途綴じ込みを同封いたしました。この狙いは、ニュースレターをお読みなったのご意見や感想、今後本誌で取り上げてほしいテーマなどを、広く会員の皆様からお聞かせ頂くことです。会員の皆様ご周知のとおり、メンバー評議員制度が始まりました。新しく発足しました「出版物に関する委員会」におきましても、学会役員や評議員の皆様のお考えに基づき、委員会活動の中核となるニュースレターをはじめとする今後の出版物の企画を練りたいと考えております。この読者アンケートの回答依頼は本誌挟み込み、評議員宛メール、さらには理事会で口頭依頼を重ねてまいりましたが、いただきましたご意見は残念ながら23件であり、日本薬物動態学会会員1980名の1.16%に相当するご回答のみでありました。

しかしながら、お寄せいただきましたご回答数は限られておりましたが、数々の貴重なご意見をいただきました。皆様の年齢やお立場により回答結果が異なる傾向がみえました。そこで、さらに回答年代層と母数を広げるため、委員会委員の個人 website を利用したオンライン回答方式を設けることにいたしました(URL: <http://web.thn.jp/DMPK/DMPKLN.htm>)。現在追加のアンケート回答をお願いしております(平成20年5月1日から7月31日迄)。

2. 中間解析結果

ニュースレター読者アンケートに回答頂いた結果をまとめ、中間解析をしました。所属がアカデミアか企業かに分けて、Q1~Q3を解析しました。年代別で特に偏りはありませんでした。以下の結果をお示しします。

レクチャーノート、実験方法シリーズは今後、重点(入力)記事とする必要があることがわかりました。

製薬業界に関するニュースや解説記事を企画充実する必要が示唆されました。レギュレーションに関する情報提供、解説、対応状況、疑問質問対応など重点企画を考える必要があります。

ご要望は多岐にわたり、種々なテーマで企画していく必要があります。

Q1. 特に印象が強い、あるいは役立った記事(重複可)

項 目	アカデミア (10名)	企業 (13名)	合計 (23名)
	得票数		
アドメライン	0	3	3
レクチャーノート	6	3	9
実験方法シリーズ	4	4	8
薬物動態事始め	1	3	4
アドメサークル	1	1	2
アドメクラブ	1	1	2
展望	1	2	3
本棚	1	0	1
学会印象記	1	1	2
著者から読者へのメッセージ	1	2	3
動態学会アクティビティ	1	4	5
他の学会案内	1	2	3

Q2. 今後の希望企画(重複可)

項 目	アカデミア (10名)	企業 (13名)	合計 (23名)
	得票数		
教科書的な読み物	6	1	7
製薬業界ニュース	6	7	13
レギュレーション関係ニュース	4	9	13
大学関係ニュース	3	2	5
研究室紹介	0	2	2
CRO 紹介	0	1	1
最新機器情報	3	2	5

Q3-1. 企画希望の教科書的な読み物分野

項 目	アカデミア (10名)	企業 (13名)	合計 (23名)
	取得票数		
医薬品相互作用	4	7	11
分析化学	2	1	3
薬物代謝	4	5	9
反応性代謝物	2	3	5
薬物動態解析	3	1	4
吸収	4	0	4
ヒト予測	5	4	9
PK/PD	3	3	6
ポピュレーションPK	2	0	2
構造活性相関	1	2	3
<i>In Silico</i>	4	1	5
その他	0	新医薬: Biologies ワクチン	0

Q3-2. レベル・内容

	アカデミア (10名)	企業 (13名)	合計 (23名)
レベル・内容	得票数		
初学者	2	4	6
上級者	3	3	6
解析事例	4	5	9
解説書	4	3	7
実験(方法)書	4	3	7
その他	0	0	0

3. 個別回答

個別に記載いただいたご提案を以下に列挙します。

- (1) 大学院生や異分野から参入した方にとって、学部教科書と総説や原著との間を埋めるものが不足しているのではないか(生化学, 分子生物領域における実験医学別冊のようなものを企画してはどうか)。
- (2) ニュースレターは内容が充実していて、素晴らしい。動態学会は製薬企業等の研究者の会員が多いのが特徴であり、製薬企業に関する記事やレギュレーションに係る投稿を出来るだけ求めてはどうか
- (3) 今後も NL の内容をより充実させる努力を続けて下さい。
- (4) 漢字にはアルファベットに無い表意の特徴がある。「著者から読者へのメッセージ」の著者名は是非漢字でお願いしたい。
- (5) 工夫されていると感じるが、内容が多岐に亘りすぎている面がある。ビジョンが伝わり難い
- (6) 非常に大事なパートである。文字が小さく、盛り沢山。もう少し内容をスリムで、よりコミュニケーションに役立つと良いと考えている。

4. 今後の活動予定

アンケートの中間解析の結果、継続するもの、追加するもの、発展させるもの、掲載を減らすもの、中止するもの等、コンテンツの見直し議論を、委員会として意見交換する必要が出て参りました。少数データではありますが、多変量解析の結果、年齢と立場により考え方が違っている傾向が見えました。年齢が高い方ほど、アドメサークル、展望、本棚に高い点数を、実験方法シリーズに低い点数をつける傾向が得られました。企業研究者ほど、レクチャーノート、実験方法シリーズ、アドメサークル、学会印象記に低い点数をつける傾向がありました。

本委員会では、一人でも多くの会員の皆様のご意見聴取が必要と判断し、web版アンケートを実施し、その結果

を基に NL コンテンツの見直しをするという活動を推進して参ります。今回いただきましたご指摘等は、今後の NL の企画をするにあたり、メンバー評議員と委員による NL 改良のための活動に大いに参考になったと中間的結論を導いております。読者の皆様のさらなるご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

アドメライン原稿公募のお知らせ

数報の論文報告を元にトピックの要点をまとめた「アドメライン」原稿を公募いたします。詳しくは編集委員あるいは編集局にお尋ね下さい。